

## 平成 28 年 3 月期 第 1 四半期の業績（連結）について

### （1）売上高

当第 1 四半期連結累計期間の売上収益は前年同期比 39 億円（12.2%）増加して 357 億円となりました。

長期収載品が競合品や後発医薬品の影響を受けて減少となったものの、骨粗しょう症治療剤「リカルボン錠」やアルツハイマー型認知症治療剤「リバスタッチパッチ」、関節リウマチ治療剤「オレンシア皮下注」等の主要新製品が順調に推移し、売上収益は 12.2%の増収となりました。

なお、昨年 5 月に発売しました 2 型糖尿病治療剤「フォシーガ錠」は 8 億円、昨年 9 月に発売しました世界初の抗 PD-1 抗体である抗悪性腫瘍剤「オプジーボ点滴静注」は 14 億円となりました。

### （2）営業利益

営業利益は前年同期比 89 億円（320.4%）増加し、117 億円となりました。

売上収益が前年同期比 39 億円増加し、さらに、退職給付制度改定にともなう人件費の減少 63 億円の影響から、研究開発費・販売費及び一般管理費がそれぞれ減少したことなどが主な要因です。

なお、退職給付制度改定に伴う人件費の減少は一時的なものであり、その影響を除いた業績（損益）の概況を決算短信の補足情報として決算短信の 14 ページに記載しています。

売上原価は、前年同期比 9 億円（11.2%）増加の 92 億円となり、退職給付制度改定の影響を除けば 16.3%増の 97 億円となります。

研究開発費は、前年同期比 14 億円（14.9%）減少の 78 億円となりましたが、退職給付制度改定の影響を除けば 9.2%増の 101 億円となります。

販売費及び一般管理費は、昨年 5 月に発売した「フォシーガ錠」に関連する営業関連費用が減少したこともあり、前年同期比 46 億円（40.1%）減少の 68 億円、退職給付制度改定の影響を除けば 8.2%減の 105 億円となりました。

### （3）親会社所有者帰属 四半期純利益

四半期純利益は、税引前四半期利益の増加に伴い、前年同期比 65 億円（225.0%）増加し、95 億円となりました。

なお、当期の業績予想については、売上と経費発生のタイミング等の理由から各段階の利益が第 2 四半期予想を上回っておりますが、概ね計画通りの進捗であり、現時点で修正の予定はありません。